全日本空手道連盟糸東会
Japan Karatedo Federation Shito-kai

WORLD SHITORYU KARATEDO FEDERATION

WSKF

世界大会記念特別号

11th SHITORYU KARATEDO INTERNATIONAL CHAMPIONSHIPS

2026.9.25-27 JAPAN
YOKOHAMA-BUNTAI

第 11 回糸東流空手道 インターナショナルチャンピオンシップ

2026 年 9 月 25 日（金）～ 27 日（日） 横浜 BUNTAI（神奈川県）

糸東祭 千代書







YOKOHAMA 2026



第 11 回糸東流空手道インターナショナル チャンピオンシップ大会の講評

大会委員長 北原三造

SANZO KITAHARA
Executive Committee Chairman

Tournament Report

第 11 回糸東流空手道インターナショナルチャンピオンシップ大会が去る 9 月 25 ～ 27 日の 3 日間にわたり行われました。また、各セレモニー、各セミナー、審査会などが大会前に実施され、糸東流空手道ウィークとなりました。

参加されました海外 48 か国約 1200 名の選手､役員、サポーターの皆様、並びに日本国糸東会の選手、役員、係員、サポーターの約 1300 名の皆様は大会会場となりました横浜市「横浜 BUNTAI（旧横浜文化体育館）」において、「糸東祭」として糸東会ファミリーの絆が創出する平和への一体感と、糸東流流祖摩文仁賢和師が説かれた「君子の拳」を参加された皆さんが体感されたのではないでしょうか。横浜 BUNTAI の大型スクリーンに映像で流れました「五常の徳」仁･義･礼・智・信は皆様を新たな世界へ導く道しるべの一つとなったことだと思います。

糸東流空手道チャンピオンシップの本筋を基本とし、今回映像や音楽など演出面で専門家のお力をお借りしまして、大会会場を活かし 3 日間に各イベントを行い、毎日を盛り上げ、観客の皆様を飽きさせない計画を立て、行いました結果が大変良かったと思います。

糸東流空手道を学ぶ私たちが日々稽古に研鑽し続けることが、いずれは異なる国の文化や言葉、習慣を超えて今まで受け継がれた糸東流空手道の絆となり、また、新たな絆がそこに生まれます。

この大会にご参加いただいた国内外の選手、役員、サポーターの皆様から、「参加して本当に良かった」というお言葉を数多くいただき、大変嬉しく思っております。特にオープン大会に参加された小中高生、一般、そしてベテランの選手からは、「お互いの健闘を称え合い、交流の場が増えた」と感謝の声をいただいております。

最後になりますが、大会開催にあたり、約 3 年前から大会の準備に御尽力をいただきました、日本糸東会の会員の皆様、協賛スポンサー各社の皆様、大会協力金を賜りました会員皆様方には衷心から感謝申し上げます。そして、3 年後の第 12 回大会開催を楽しみにしております。

Report of the 11th Shitoryu Karatedo International Championships

The 11th Shitoryu Karatedo International Championships were held over three days from September 25 to 27. Furthermore, various ceremonies, seminars, and grading examinations took place prior to the tournament, making it a true “Shitoryu Karatedo Week.”

To the approximately 1,200 competitors, officials, and supporters from 48 overseas countries, as well as the approximately 1,300 competitors, officials, staff, and supporters from the Japan Shito-kai, who gathered at the venue, Yokohama BUNTAI: I believe you all experienced firsthand, as a “Shito Festival,” the sense of unity for peace created by the bonds of the Shito-kai family, and Kunshi no Ken–The Fist of a Noble Person taught by our founder, Master Kenwa Mabuni. The “Five Constant Virtues” –Benevolence, Justice, Propriety, Wisdom, and Sincerity (Ren, Gi, Rei, Chi, Shin)—displayed on the large screen at Yokohama BUNTAI surely served as one of the guiding lights leading everyone into a new world.

Sticking firmly to the core of the Shitoryu Karatedo Championships, we enlisted the help of specialists this time for visual, musical, and other production elements. By making the most of the venue and holding various events across the three days to keep the excitement high and ensure the audience stayed engaged, I believe the results of our planning and execution were exceptionally successful.

The daily diligence and refinement of our training in Shitoryu Karatedo will, in time, transcend the differences in cultures, languages, and customs of various countries to become the enduring bonds of Shito-ryu Karate-do that have been passed down to us, while also forging brand-new bonds right there.

We have received numerous comments of “I'm truly glad I participated” from the domestic and international competitors, officials, and supporters who joined this tournament. In particular, we have heard voices of gratitude from the elementary, junior high, and high school students, as well as general and veteran competitors who took part in the open tournament. They expressed their appreciation for the increased opportunities to recognize one another's efforts and strengthen friendships.

In closing, I would like to express my heartfelt gratitude to all the members of Japan Shito-kai, our corporate sponsors, and all members who generously contributed financial support toward the tournament who poured their efforts into preparing for this tournament over the past three years. Finally, I look forward with great anticipation to the 12th Championships three years from now.

Team JAPAN Comment



日本選手団監督
井戸康善

第 11 回糸東流世界大会を振り返って

第 11 回糸東流空手道インターナショナルチャンピオンシップに向け、「空手の母国･日本として『心技体知徳』を世界に発信すること」と「子どもたちに夢を届けること」の二つを大きな目的として掲げました。この二つの目的は、2026 年の選手強化委員会の指針となりました。1 月の強化選手選考会では、その達成に向けた選考を行い、チームが始動しました。

「ONE TEAM JAPAN」のスローガンのもと、6 月の強化合宿ではチームの方向性や考え方について話し合い、目標とする各種大会に向けた強化に取り組むとともに、世界大会のメンバーを決定しました。大会の 2 週間前に実施した 9 月の直前合宿では、国際大会に向けた具体的な対策を講じ、チームの結束力はさらに高まりました。一方、今大会は 6 年に一度の日本開催であり、選手・コーチ合わせて総勢 33 名の大所帯であったこと、また、前回大会を経験した選手が 6 名と、世代交代の時期にあったことから、「真の ONE TEAM」となるためには課題もありました。

迎えた 9 月 23 日（水）、横浜 BUNTAI に選手とコーチが一堂に会し、結団式を行いました。メンタル面を含め、さまざまな事態を「想定内」にしておくことを確認しました。当日は受付登録と全体練習も行いました。活気あふれる練習では「場を支配する」ことを意識し、会場管理をサポートしてくださった強化委員の先生方や選手のおかげで、良い練習環境が整いました。心より感謝申し上げます。その後、選手・コーチ全員で夕食を共にし、決起会を行いました。

9 月 24 日（木）は、形の清水希容先生、組手の小野秀明先生によるセミナーが行われました。コーチ全員が運営に関わり、海外選手との交流も生まれ、「糸東祭」にふさわしい場となりました。また、WSKF 審査会、審判講習会、抽選会、監督会議など、さまざまな行事が実施されました。公式練習では、それぞれが自分に合った調整方法を活用し、集中力を高めた引き締まった練習となりました。

そして 9 月 25 日（金）、いよいよ大会が始まりました。男女個人形を皮切りに、各種目で躍動する日本チームの戦いぶりが会場の注目を集めました。日本チームの強さを支えたのは、メンバー全員の力です。選手・コーチはもちろん、これまで強化に関わってくださった方々をはじめ、関係者全員の存在が、苦しい場面で競り勝つ力となりました。

翌 26 日（土）の団体形・組手の決勝戦では、これからの空手大会の可能性を感じさせる素晴らしい演出に加え、コートサイドから応援する子どもたちの声援が大きな力となり、金メダルラッシュにつながりました。日本チームの優勝が続くにつれて、選手たちの勢いはさらに増し、チーム全体がゾーンに入ったかのような戦いが最終日まで続き「真の ONE TEAM JAPAN」として成長を遂げました。

その結果、シニアでは全 16 種目で金メダル 11 個、銀メダル 5 個、銅メダル 3 個を獲得するという歴史的な偉業を成し遂げました。また、オープン大会やジュニア世代でも多くのメダルを獲得し、大躍進を遂げました。さよならパーティーでは、海外選手との交流も積極的に行われました。会話を交わしながら写真を撮る時間は、国際大会ならではの醍醐味であり、何ものにも代えがたい経験と財産になったことと思います。

日本の強さを世界に発信できたことは、もちろん最高の喜びでした。しかし、それ以上に嬉しかったのは、日本の「礼節」を世界に広められたことです。時には指導を受ける場面もありましたが、コートでの立ち居振る舞いや所作、会場内外でのマナーを含めた日本チームの姿勢に、数多くの称賛の声をいただき、深く感動しました。

大会終了後、最後の会場片づけにも日本代表選手が残り、率先して作業に取り組んでいました。その姿は、まさにチームの目的を体現する行動でした。

摩文仁賢雄宗家、岩田源三会長をはじめ、役員の先生方、審判の先生方、そして今大会に携わってくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。今後も世界糸東流空手道連盟の発展に貢献できるよう、さらなる成長を目指し、選手とともに精進してまいります。本当にありがとうございました。



Events

Sep.23

WSKF 会議
ウエルカム・ディーナー
WSKF Meeting
Welcome Dinner

新横浜プリンスホテル「千鳥」の間で、世界糸東流空手道連盟（WSKF）の会議を開催。各国の代表が集まり、今後の連盟の体制、各国の状況報告などが行われました。
会議を終え、会場を「若菜」の間に移し、和やかにウエルカム・ディナーをたのしみながら、翌日からのセミナー、競技大会の成功を誓い合いました。








Sep.24

セミナー・審査会
Seminar
Examination

パープーレンとチャタンヤラクーサンクーの形セミナー、小野秀明の組手セミナー、清水希容の形セミナーが行われ、いずれのセミナーも大盛況でした。
そのセミナーの合間を縫って、段位·資格·称号の審査会が行われました。









Sep.25-27

シニア大会
Senior Championship

団体形・団体組手
個人形・個人組手
各国の精鋭であるシニア選手たちが国の威信をかけて激突。
決勝はセンターコートを各国の応援団が取り囲み、応援合戦の中、最高のパフォーマンスを魅せる素晴らしい試合が展開しました。









Sep.25-27

オープン大会
Open Tournament

個人形、個人組手競技
6•7 歳クラスから 75 歳クラスまで 72 種目が 8 コートで展開し、熱戦が繰り広げられました。









Sep.26-27

式典・イベント
Ceremony
Event

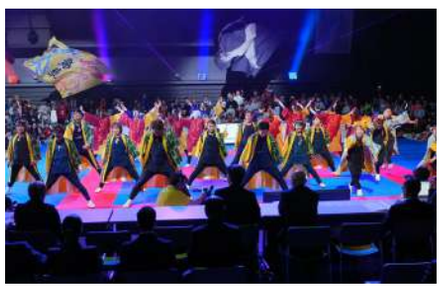
空手界、政財界から多くのゲストを迎え、眩い光の中、盛大に式典が開催されました。
君子の拳の精神を中心に、「五常の徳である仁・義・礼・智・信が世界を巡り、平和への一体感を創出する」と言うコンセプトの下、多彩なイベントが展開されました。
国歌独唱、糸東流開祖・摩文仁賢和先生胸像の除幕式、（株）リゾンのよさこい演舞、シニア競技の決勝への導入など、演出の多彩さが際立ちました。











Sep.27

さよならパーティー
SAYONARA Party

横浜 BUNTAI が、試合会場から音楽とカクテル光線の交差するさよならパーティの会場に早変わり。
ドレスアップ、民族衣装など思い思いの服装で役員も選手もパーテイを楽しみ、各国の皆さんが親睦を深めました。
段位・資格・称号の合格者も紹介され、会場は一段と盛り上がりました。
次回の世界大会に想いを馳せながら、再会を誓いあっていました。






Team JAPAN Comment

男子主将
芝本航矢
男子団体組手金メダル
個人組手 -67kg 金メダル



「子どもたちに夢を」をスローガンに掲げた本大会で、私たちは団体競技の全種目制覇という結果を残し、日本の層の厚さを証明することができました。この結果は、先生方のご指導のもと、選手全員が日々の稽古を積み重ねてきた成果だと思います。

今大会では、挨拶や礼儀、ゴミ拾いにも全員で取り組みました。直接、勝敗にはつながらないかもしれませんが、こうした姿勢こそが、最後に勝敗を分ける大切なものだと身をもって学びました。

この場をお借りして、すべての関係者の皆さま、そして最高の仲間に、心より感謝申し上げます。

Team JAPAN Comment

女子主将
砂田依輝
女子団体組手金メダル
個人組手 +68kg 銅メダル



ジャカルタ大会に引き続き、今回も本当にありがとうございました。

また糸東会の一員として、皆さんと一緒に戦えたことを本当に嬉しく思います。試合前の井戸先生のお声掛けも、とても力になりました!
一方で、なかなかチームに貢献できず、本当に申し訳なく思っています。

大会が終わった今、3 年後も出場したいというのが率直な気持ちです。また皆さんと一緒に戦えるよう、これからも頑張りたいと思います。
これからもよろしくお願いいたします。

Team JAPAN Comment

中島汰尊
男子団体形・個人形 金メダル



今回、初めて国際大会に出場し、個人形・団体形の両種目で優勝することができました。海外の選手と同じ舞台で競うことはとても貴重な経験となり、世界大会ならではの緊張感や雰囲気を肌で感じることができました。また、日本チームが「One Team」という合言葉のもと、選手も先生方も全員で声を掛け合い、一丸となって戦えたことがとても印象に残っています。これからも感謝の気持ちを忘れず、日々精進し、糸東会の発展に貢献できるよう頑張っていきます。

Team JAPAN Comment

北口歌桜
女子団体形・個人形 金メダル



糸東会の日本代表として今大会に参加できたことを、大変嬉しく思います。幼い頃、この大会で活躍する先輩方に憧れて空手を続けてきました。今度は自分が子どもたちに憧れを与えられる存在になりたいという思いで臨みました。

結果として、目標としていた個人形・団体形の二冠を達成できたこと、そして最高のチームメイトと「One Team」として最後まで戦い抜けたことは、一生の記憶に残る経験となりました。
大会の開催にご尽力いただいたすべての関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

11th SHITORYU KARATEDO INTERNATIONAL CHAMPIONSHIPS

Results 大会結果

YOKOHAMA 2026

Senior Championships

Winners



形 男子個人
中島 汰尊（日本）



形 女子個人
北口 歌桜（日本）



形 男子団体
日本　松田 竜基・中島 汰尊・野呂瀬 龍馬



形 女子団体
日本　北口 歌桜・清水 彩瑚・小久保 麗



組手 男子個人（-60kg）
RAKESH MANANDHAR(NEPAL)



組手 男子個人（-67kg）
芝本 航矢（日本）



組手 男子個人（-75kg）
SEBASTIAN ENRIQUE CASTILLO FERRER(VENEZUELA)



組手 男子個人（-84kg）
RODRIGUEZ BERMEA JESUS LEONARDO(MEXICO01)



組手 男子個人（+84kg）
ZHILIN GENNADII(RUSSIA)



組手 女子個人（-50kg）
木津 美咲（日本）



組手 女子個人（-55kg）
渡辺 笑理（日本）



組手 女子個人（-61kg）
関 心菜（日本）



組手 女子個人（-68kg）
門川 幸羽（日本）



組手 女子個人（+68kg）
ARIKA GURUNG(NEPAL)



組手 男子団体
日本



組手 女子団体
日本



Medalists



◆男子形
[優勝]NAKAJIMA TAISON(日本)
[準優勝]MACHIDA YASUHIRO(日本)
[第三位]KNIGHT HARRISON(AUSTRALIA)／CHRISTOPHER EDBERT SETIABUDI(INDONESIA)



◆女子形
[優勝]KITAGUCHI KAO(日本)
[準優勝]LINS MARTINS BEATRIZ(BRAZIL)
[第三位]KOSHKARBAYEVA LIYA(KAZAKHSTAN)／SHIMIZU AKO(日本)



◆男子形団体
[優勝]日本
[準優勝]RUSSIA



◆女子形団体
[優勝]日本
[準優勝]RUSSIA
[第三位]MEXICO1／NEPAL



◆男子組手-60kg
[優勝]RAKESH MANANDHAR(NEPAL)
[準優勝]PICHUGIN EGOR(RUSSIA)
[第三位]MARTINEZ GARDEA GABRIEL YAZID(MEXICO1)／KAKO SHODAI(日本)



◆男子組手-67kg
[優勝]SHIBAMOTO KOYA(日本)
[準優勝]OTAKE RYOSUKE(日本)
[第三位]PECH HUCHIM ULISES ENRIQUE(MEXICO1)／MIN BAHADUR TAMANG(NEPAL)



◆男子組手-75kg
[優勝]SEBASTIAN ENRIQUE CASTILLO FERRER(VENEZUELA)
[準優勝]IBARRA GAYTAN ROMMEL JAZDIEL(MEXICO1)
[第三位]KAPUSTIAN KIRILL(RUSSIA)／CHUAN KAI CHENG(CHINESE TAIPEI)



◆男子組手-84kg
[優勝]RODRIGUEZ BERMEA JESUS LEONARDO(MEXICO1)
[準優勝]KOSAKA ZEN(日本)
[第三位]LUJAN AGUILAR DIEGO ALEJANDRO(MEXICO1)／MATSUMOTO RYUKAI(日本)



◆男子組手+84kg
[優勝]ZHILIN GENNADII(RUSSIA)
[準優勝]RAMBANS BRANDON(NEW CALEDONIA)
[第三位]TERAN DIAZ RAMIRO JAVIER(MEXICO1)／TARELKIN MATVEI(RUSSIA)



◆女子組手-50kg
[優勝]KIZU MISAKI(日本)
[準優勝]ISHII AKO(日本)
[第三位]DENIS GALLARETA PALOMA(MEXICO1)／MALDONADO SOFIA(USA)



◆女子組手-55kg
[優勝]WATANABE EMIRI(日本)
[準優勝]SASAKI KAHO(日本)
[第三位]REBECCA DAKDUK ABOU SAID(VENEZUELA)／SANCHEZ GODINEZ ARANTXA(MEXICO1)



◆女子組手-61kg
[優勝]SEKI KOKOHA(日本)
[準優勝]PAO YU HSUN(CHINESE TAIPEI)
[第三位]PADILLA GALVAN ANGELA YOCELYN(MEXICO1)／RUEDAS ZUNIGA ANA VALERIA(MEXICO1)



◆女子組手-68kg
[優勝]KADOKAWA YUKIHA(日本)
[準優勝]NIRUPA DONG TAMANG(NEPAL)
[第三位]SIDORSKAYA MARIA(RUSSIA)／JIANG CIH SIN(CHINESE TAIPEI)



◆女子組手+68kg
[優勝]ARIKA GURUNG(NEPAL)
[準優勝]LIN YI HSUAN(CHINESE TAIPEI)
[第三位]SUNADA YORIKA(日本)／TRUJILLO MIRIAM(USA)



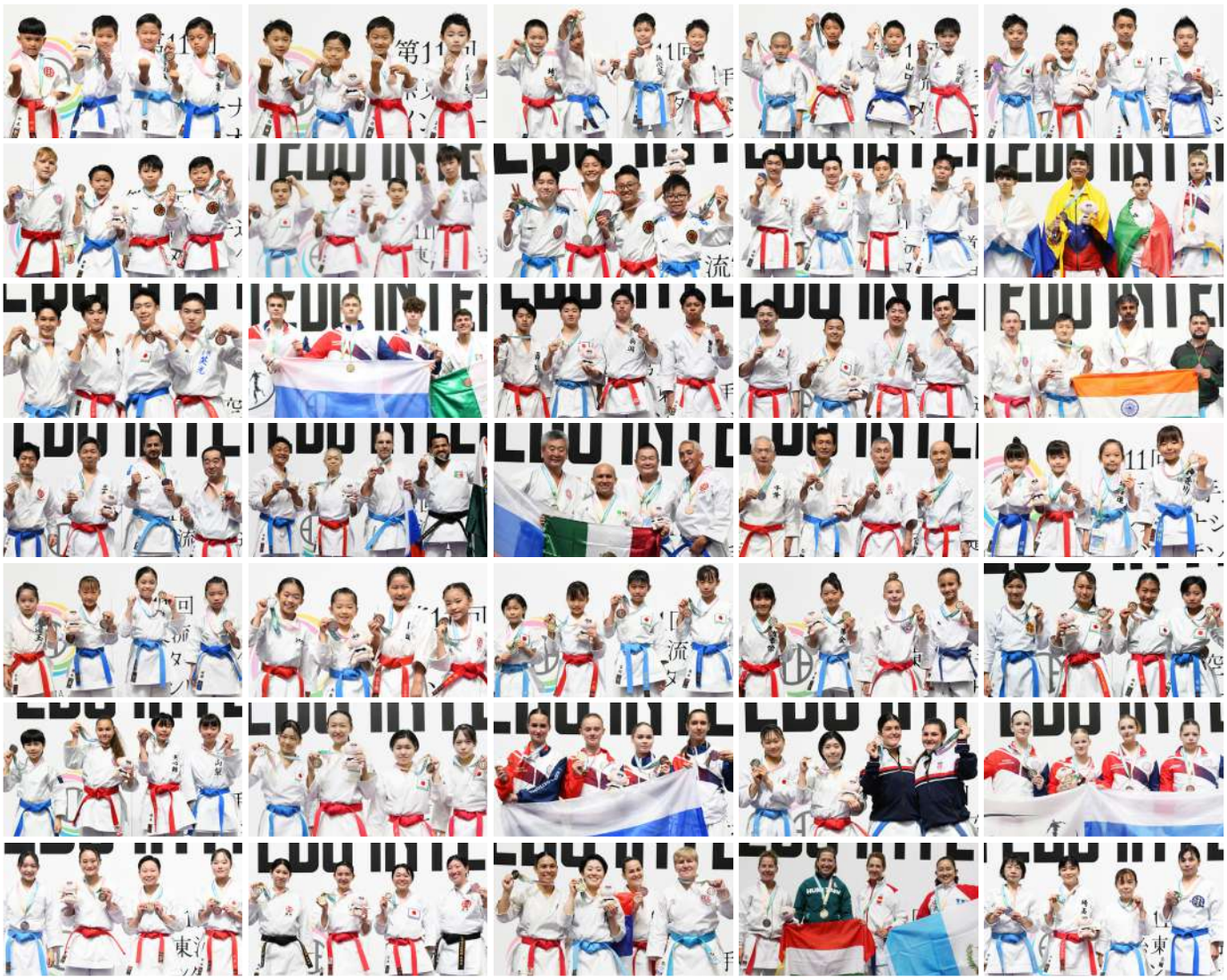
◆男子組手団体
[優勝]日本
[準優勝]RUSSIA
[第三位]CHINESE TAIPEI／MEXICO1



◆女子組手団体
[優勝]日本
[準優勝]CHINESE TAIPEI
[第三位]RUSSIA／NEPAL

Open Tournament

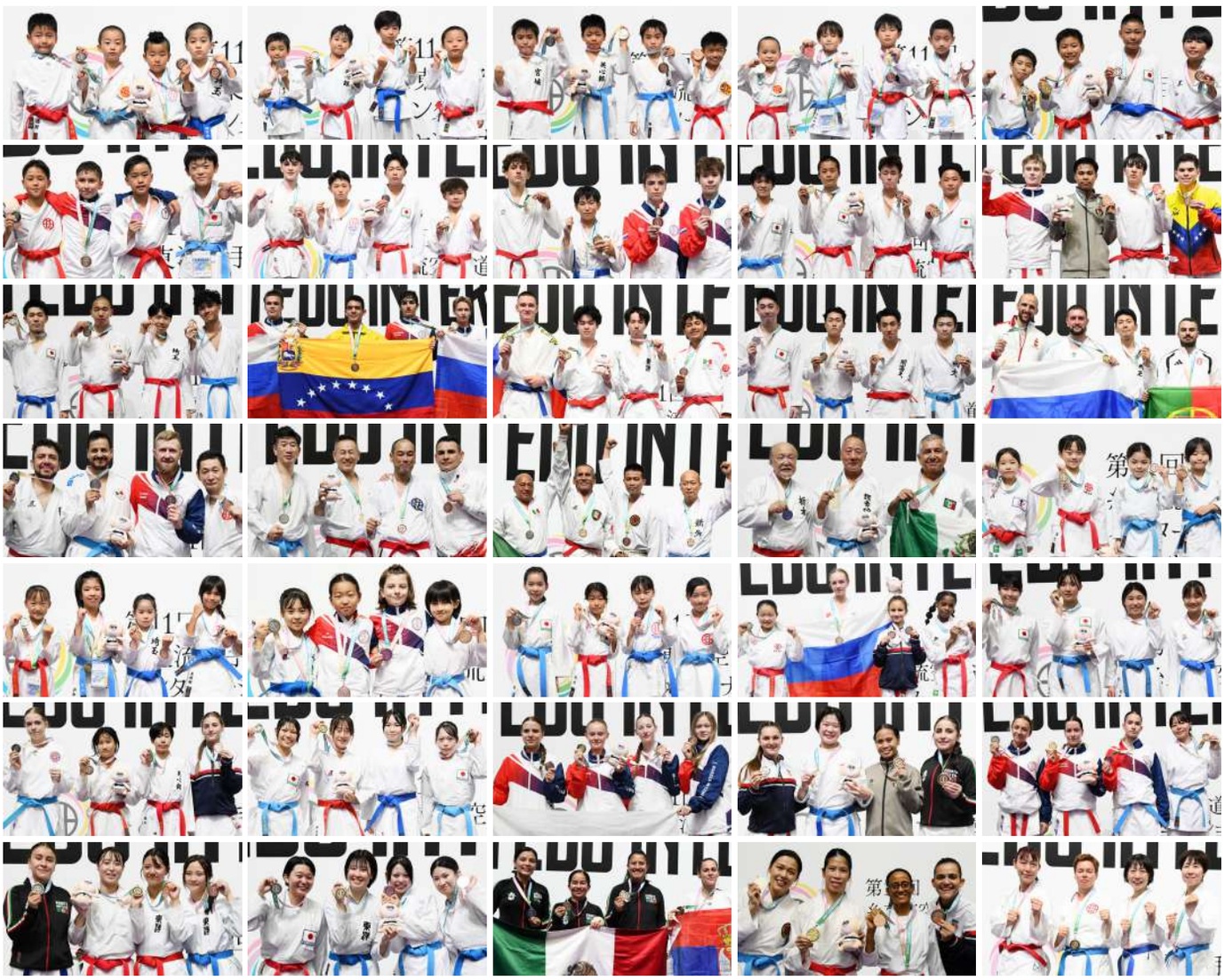
Kata Medalists



◆男子形6-7歳（4級以下）［優勝］安田柊汰（大阪府）［準優勝］嶋瀬貫佑（大阪府）［第三位］三土凜空（北海道）／嶋瀬悠佑（大阪府）
◆男子形6-7歳（3級以上）［優勝］塩田徹（大阪府）［準優勝］松尾惇樹（兵庫県）［第三位］荻原桜汰朗（千葉県）／山﨑駈（新潟県）
◆男子形8-9歳（4級以下）［優勝］田中一智（大阪府）［準優勝］早川翔琉（三重県）［第三位］鈴木七斗（北海道）／渡邊皇介（山口県）
◆男子形8-9歳（3級以上）［優勝］濵﨑陽太（大阪府）［準優勝］渡辺朝陽（埼玉県）［第三位］加藤晴真（新潟県）／土屋秀真（山梨県）
◆男子形10-11歳（4級以下）［優勝］手塚由依斗（栃木県）［準優勝］SHAPOSHNIKOV ALEKSANDR（RUSSIA）［第三位］CHOR CHUNG KIU PAYTON（HONG KONG）／WONG HEI CHIT（HONG KONG）
◆男子形10-11歳（3級以上）［優勝］三村海翔（埼玉県）［準優勝］木下弥（奈良県）［第三位］庄司力永（埼玉県）／南都八尋（兵庫県）
◆男子形12-13歳（4級以下）［優勝］CHAN PAK KIU AIDEN（HONG KONG）［準優勝］KWAN LOK HEI（HONG KONG）［第三位］FUNG KAI CHUN（HONG KONG）／YIP WANG TSUN（HONG KONG）
◆男子形12-13歳（3級以上）［優勝］和田丈太郎（兵庫県）［準優勝］今村光汰（千葉県）［第三位］数野瑛斐（山梨県）／竹下大和（奈良県）
◆男子形14-15歳（段外者）［優勝］SEBASTIAN VICENT VELASQUEZ（VENEZUELA）［準優勝］BOBROV DMITRII（RUSSIA）［第三位］TOME ANTONIO MIRA（PORTUGAL 2）／KRESTIANINOV ARSENII（RUSSIA）
◆男子形14-15歳（有段者）［優勝］大西秀昭（山梨県）［準優勝］渡邉直希（山梨県）［第三位］中谷優月（奈良県）／上原壮太（東京都）
◆男子形16-17歳（段外者）［優勝］SENATSKII RADOMIR（RUSSIA）［準優勝］FROLOV NIKITA（RUSSIA）［第三位］TLEMIGANOV DAMIR（RUSSIA）／CANTU VILLALOBOS RODRIGO DANIEL（MEXICO1）
◆男子形16-17歳（有段者）［優勝］新城幸翔（埼玉県）［準優勝］福井敢太（兵庫県）［第三位］栗生田和（埼玉県）／小林洵晴（神奈川県）
◆男子形18-20歳［優勝］葛西修真（北海道）［準優勝］池上大耀（岡山県）［第三位］北村文人（東洋大学）／中丸大介（新潟県）
◆男子形21-29歳［優勝］山崎郁弥（山梨県）［準優勝］古屋日々起（山梨県）［第三位］ROWSBY NICHOLAS KAZUNARI（NEW ZEALAND）／福元巧（兵庫県）
◆男子形30-39歳［優勝］中嶋崇了（茨城県）［準優勝］MUSHCHIN DMITRII（RUSSIA）［第三位］LUGO LOPEZ ERICK RICARDO（MEXICO1）／S.KARTHICK（INDIA）
◆男子形40-49歳［優勝］早川知秀（三重県）［準優勝］髙瀬将孝（神奈川県）［第三位］前川敦史（東京都）／AGUILAR ESCUDERO JOSE LUIS（MEXICO1）
◆男子形50-59歳［優勝］中澤太一（埼玉県）［準優勝］水野貴人（愛知県）［第三位］FUENTES ALMENDAREZ GUILLERMO（MEXICO1）／GRUZDEV ALEKSEI（RUSSIA）
◆男子形60-69歳［優勝］TOVAR VALDEZ BELISARIO（MEXICO1）［準優勝］GARMAEV VENIAMIN（RUSSIA）［第三位］KOSHKARBAYEV MUKHTAR（KAZAKHSTAN）／三浦恒良（大分県）
◆男子形70歳以上［優勝］相沢勇（新潟県）［準優勝］田中正治（千葉県）［第三位］大橋利昭（栃木県）／石川保人（兵庫県）
◆女子形6-7歳［優勝］木下璃（奈良県）［準優勝］佐尾璃衣奈（奈良県）［第三位］平野結彩（神奈川県）／平野響彩（北海道）
◆女子形8-9歳（4級以下）［優勝］大森小遥（岡山県）［準優勝］杉本いろは（北海道）［第三位］西崎希々羽（岡山県）／永沼紗弥（大阪府）
◆女子形8-9歳（3級以上）［優勝］榎本茉奈（埼玉県）［準優勝］和泉咲良（埼玉県）［第三位］日下部咲那（栃木県）／美濱充来（北海道）
◆女子形10-11歳（4級以下）［優勝］齊藤きく（北海道）［準優勝］井上すず（北海道）［第三位］SANCHEZ ANTONELLA（USA）／KARELOVA PELAGEIA（RUSSIA）
◆女子形10-11歳（3級以上）［優勝］中村心陽（奈良県）［準優勝］薄井芹奈（奈良県）［第三位］藤本こころ（大阪府）／富岡ゆあ（埼玉県）
◆女子形12-13歳（4級以下）［優勝］FEDOTOVA EVA（RUSSIA）［準優勝］芥田琴子（大阪府）［第三位］橋本すばる（山梨県）／白須楓（山梨県）
◆女子形12-13歳（3級以上）［優勝］湯田琉美菜（奈良県）［準優勝］宮﨑理和子（兵庫県）［第三位］湯田優月羽（奈良県）／稲田美咲（兵庫県）
◆女子形14-15歳（段外者）［優勝］CHURIKOVA SOFIA（RUSSIA）［準優勝］ASEEVA VLADISLAVA（RUSSIA）［第三位］SHALL GRETTA（RUSSIA）／ZHIZHINA POLINA（RUSSIA）
◆女子形14-15歳（有段者）［優勝］松下奈央（大阪府）［準優勝］杉本心結（三重県）［第三位］吉田莉歩（山梨県）／栗生田尊（埼玉県）
◆女子形16-17歳（段外者）［優勝］FATEEVA ALENA（RUSSIA）［準優勝］BELIAEVA ALISA（RUSSIA）［第三位］BRAZHNAIA ALEKSANDRA（RUSSIA）／VOROBEVA VIKTORIIA（RUSSIA）
◆女子形16-17歳（有段者）［優勝］藤野杏（埼玉県）［準優勝］松下想奈（兵庫県）［第三位］GABALDON MARIA FERNANDA（USA）／SANCHEZ ISABELLA（USA）
◆女子形18-20歳［優勝］砂田妃縁（大阪府）［準優勝］加藤友悠（愛知県）［第三位］新城凜聖（埼玉県）／田中珠稟（新潟県）
◆女子形21-29歳［優勝］五味優香（山梨県）［準優勝］髙井心輝（東京都）［第三位］髙井友輝（東京都）／富松生悠（兵庫県）
◆女子形30-39歳［優勝］沖重愛佳（神奈川県）［準優勝］MONDOLONI ANGELIQUE（NEW CALEDONIA）［第三位］KAPRALOVA ALEKSANDRA（RUSSIA）／TRPKOVIC SNEZANA（REPUBLIC OF SERBIA）
◆女子形40-49歳［優勝］GASPARIK KITTI（HUNGARY）［準優勝］COGGINGS PASCALE（CANADA 1）［第三位］MATSUZAWA KAYO（GUATEMALA）／VALIN MARTIN MARIA LUISA（SPAIN）
◆女子形50歳以上［優勝］小嶋美佐枝（埼玉県）［準優勝］西島加代子（大阪府）［第三位］窪万樹子（大阪府）／恩田淑子（東京都）

Open Tournament

Kumite Medalists



◆男子組手6-7歳（4級以下）［優勝］畑山伊吹（山梨県）［準優勝］羽田一深（山梨県）［第三位］樋口明星（大阪府）／中尾波留（埼玉県）
◆男子組手6-7歳（3級以上）［優勝］斉藤慶将（大阪府）［準優勝］西野櫂（大阪府）［第三位］深谷湊人（埼玉県）／木宮光珀（兵庫県）
◆男子組手8-9歳（4級以下）［優勝］大和田歩夢（茨城県）［準優勝］上間義市（大阪府）［第三位］斎藤清之介（栃木県）／菅股仁（千葉県）
◆男子組手8-9歳（3級以上）［優勝］山口登滋（山梨県）［準優勝］大竹蓮（宮城県）［第三位］稲田翼（兵庫県）／大竹楓（宮城県）
◆男子組手10-11歳（4級以下）［優勝］LUCHKOV EGOR（RUSSIA）［準優勝］柴田治真（兵庫県）［第三位］菅野颯吾（福島県）／TENG CHIH AN（CHINESE TAIPEI）
◆男子組手10-11歳（3級以上）［優勝］柴崎道那人（千葉県）［準優勝］大山隼幹（千葉県）［第三位］森田紫文（埼玉県）／竹澤丞一朗（茨城県）
◆男子組手12-13歳（4級以下）［優勝］大山翔平（千葉県）［準優勝］KUZMIN ARTEM（RUSSIA）［第三位］GOLOVATSKII GRIGORII（RUSSIA）／ZINGAN ALEKSEI（RUSSIA）
◆男子組手12-13歳（3級以上）［優勝］川畑翔也（兵庫県）［準優勝］CHILLINGWORTH BRANDO（AUSTRALIA）［第三位］川畑天輝（兵庫県）／小林樹嵐（埼玉県）
◆男子組手14-15歳（段外者）［優勝］AUFARO ENRIQUE UNEPUTTY（INDONESIA）［準優勝］ASTAFEV NIKOLAI（RUSSIA）［第三位］JESUS RAFAEL GARCIA RUIZ（VENEZUELA）／GADZHIMURADOV SAID（RUSSIA）
◆男子組手14-15歳（有段者）［優勝］斉藤鉄将（大阪府）［準優勝］中野琉斗（大阪府）［第三位］安田一平（山梨県）／藤井勇人（三重県）
◆男子組手16-17歳（段外者）［優勝］RAFAEL ENRIQUE ANATO JIMENEZ（VENEZUELA）［準優勝］FROLOV NIKITA（RUSSIA）［第三位］MELKONIAN ARTUR（RUSSIA）／DRUZHININ VLADIMIR（RUSSIA）
◆男子組手16-17歳（有段者）［優勝］落合創士（大阪府）［準優勝］永井来晟（奈良県）［第三位］井上光陽（埼玉県）／THOZE-EMEN MATTHEW（NEW CALEDONIA）
◆男子組手18-20歳［優勝］大島竜誓（東洋大学）［準優勝］POMERANTSEV STEPAN（RUSSIA）［第三位］SERRANO QUECHOLAC JULIO OSWALDO（MEXICO1）／杉野凛久（東洋大学）
◆男子組手21-29歳［優勝］林真弘（千葉県）［準優勝］毛利謙吾（埼玉県）［第三位］西岡昊篤（愛媛県）／安間隆起（千葉県）
◆男子組手30-39歳［優勝］KOCHETKOV KONSTANTIN（RUSSIA）［準優勝］FERNANDEZ CALERO CRISTIAN（SPAIN）［第三位］MENDONCA RICARDO AFONSO DA COSTA（PORTUGAL 2）／中平康太（埼玉県）
◆男子組手40-49歳［優勝］AGUILAR ESCUDERO JOSE LUIS（MEXICO1）［準優勝］MARTINEZ RAMIREZ PEDRO（MEXICO1）［第三位］木戸口基（神奈川県）／KLYUEV DENIS（RUSSIA）
◆男子組手50-59歳［優勝］MURAYAMA TOYONAGA ALONSO TETSUO（MEXICO1）［準優勝］高井久頼（東京都）［第三位］ROUMAGNE FREDERIC（NEW CALEDONIA）／新居知也（大阪府）
◆男子組手60-69歳［優勝］PEREZ LOPEZ ALFONSO（MEXICO1）［準優勝］NAVA ESPINOZA JESUS ADRIAN（MEXICO1）［第三位］木田義一（新潟県）／WONG KA TUNG（HONG KONG）
◆男子組手70歳以上［優勝］松橋賢一（北海道）［準優勝］板垣正美（栃木県）［第三位］田中康雄（兵庫県）／HUERTA BANDA RAYMUNDO（MEXICO1）
◆女子組手6-7歳［優勝］渡辺梓桜（茨城県）［準優勝］関根つむぎ（福島県）［第三位］丹治菜ノ羽（埼玉県）／美濱伶奈（北海道）
◆女子組手8-9歳（4級以下）［優勝］LI MILANA（RUSSIA）［準優勝］高橋華音（千葉県）［第三位］岸桂可（岡山県）／BULGAKOVA ANASTASIIA（RUSSIA）
◆女子組手8-9歳（3級以上）［優勝］竹原彩加（兵庫県）［準優勝］榎本茉奈（埼玉県）［第三位］吉中美珠樹（兵庫県）／和泉咲良（埼玉県）
◆女子組手10-11歳（4級以下）［優勝］ATLASOVA SOFIIA（RUSSIA）［準優勝］深作百合（茨城県）［第三位］BRIDGET OLUWAFIKAYO SUCCESS ATOYEBI（MALAYSIA）／SANCHEZ ANTONELLA（USA）
◆女子組手10-11歳（3級以上）［優勝］吉田優夢（大阪府）［準優勝］堀もも（兵庫県）［第三位］松尾柚佳（兵庫県）／川畑芹名（兵庫県）
◆女子組手12-13歳（4級以下）［優勝］佐藤杏（千葉県）［準優勝］YAKUNINA VERONIKA（RUSSIA）［第三位］FONSECA CAMILA（USA）／橋本すばる（山梨県）
◆女子組手12-13歳（3級以上）［優勝］清水希香（愛媛県）［準優勝］一條美咲（宮城県）［第三位］木下幸来（兵庫県）／北野妃葵（大阪府）
◆女子組手14-15歳（段外者）［優勝］CHURIKOVA SOFIA（RUSSIA）［準優勝］BELOVA EKATERINA（RUSSIA）［第三位］RIGINA MARIIA（RUSSIA）／KATASONOVA VIKTORIIA（RUSSIA）
◆女子組手14-15歳（有段者）［優勝］林美璃愛（長崎県）［準優勝］佐光愛羽（大阪府）［第三位］吉田莉歩（山梨県）／齋藤三絆（栃木県）
◆女子組手16-17歳（段外者）［優勝］BORISOVA EKATERINA（RUSSIA）［準優勝］MELIKOVA MARIIA（RUSSIA）［第三位］石橋波音（大阪府）／BLOKHNINA MARIIA（RUSSIA）
◆女子組手16-17歳（有段者）［優勝］田中心和（兵庫県）［準優勝］SANCHEZ ISABELLA（USA）［第三位］GARZA ELIZONDO ALEXA LILIANA（MEXICO1）／AURELLINE EDFENZE UNEPUTTY（INDONESIA）
◆女子組手18-20歳［優勝］齋藤小夏（東京都）［準優勝］SILVA CAMACHO RUT SAMANTHA（MEXICO1）［第三位］猪股桜香（東洋大学）／見田心（東洋大学）
◆女子組手21-29歳［優勝］林歩佳（東洋大学）［準優勝］富松生悠（兵庫県）［第三位］髙井心輝（東京都）／嵯峨芽依（北海道）
◆女子組手30-39歳［優勝］TETLALMATZI TORRES ANA CRISTINA（MEXICO1）［準優勝］QUECHOLAC GUERRERO ESTEFANIA（MEXICO1）［第三位］TRPKOVIC SNEZANA（REPUBLIC OF SERBIA）／CRUZ CERVANTES ANA ADELA（MEXICO1）
◆女子組手40-49歳［優勝］LAM TSZ YING（HONG KONG）［準優勝］WU HIU SHAN（HONG KONG）［第三位］PEREZ VANESSA（USA）／Giri Parbati（埼玉県）
◆女子組手50歳以上［優勝］OSTROVSKAYA OLGA（REPUBLIC OF SERBIA）［準優勝］細野公子（岐阜県）［第三位］橋本和歌子（兵庫県）／西島加代子（大阪府）

Photo Collection























More Photos are Here!

https://www.photoreco.com/karatedo

本大会の写真をご覧ください。
購入することもできます。

右の QR コードでサイトにアクセスし、
下記のコードを入力ください。

2555-2358-3479-ekrz

Go to the photo sales page
Use the QR code or type
https://www.photoreco.com/karatedo
Enter an authentication key
2555-2358-3479-ekrz



空手道 糸東会

世界大会記念特別号

令和８年 11 月１日発行

《発行所》
一般社団法人
全日本空手道連盟糸東会
事務局

〒 351-0033
埼玉県朝霞市浜崎３- 8-11

TEL：048 (476) 3818
FAX：048 (476) 3869